

# アゼルバイジャン 魅惑の観光地



釧路育ちで、観光庁の観光立国推進有識者会議委員の石井至さん（48）＝東京都在住、写真＝が、アゼルバイジャンを独自の視点で紹介するガイドブック「ゾルゲ、キャビア、アゼルバイジャン」を、自身が経営するコンサルティング会社「石井兄弟社」（東京）から出版した。

石井さんは札幌で生まれ、5歳から釧路に。釧路湖陵高、東大医学部卒。外資系証券会社勤務を経て1997年にコンサルティング会社を設立した。

## 釧路湖陵高卒・石井さん ガイド本出版



仕事で世界各国を歩く中で「日本人旅行者が少ない国にも、素晴らしい観光地が多い」と感じ、2009年にタイのリゾート地チバソムを「おなかいっぱい食べるだけで痩せる」をテーマに紹介するガイドブックを出版。以来、「日本人があまり行かない場所」を案内する本の出版を続け、今回が4冊目。

アゼルバイジャン出身で太平洋戦争開戦直前の日本で逮捕され、処刑された旧ソ連のスパイ、リヒャルト・ゾルゲの紹介に始まり、国民が「世界一の味」と誇るキャビア、石油や天然ガスが地面から染み出し自然発火する光景を眺められる歴史・自然保護区「ヤナルダー」、岩石に描かれた太古の線画が残る世界遺産ゴブスタン遺跡などを紹介している。

石井さんは「普通の旅先に飽きた人に読んでほしい」と話す。縦18センチ×横18センチ、カラー96ページ。1050円。

（佐竹直子）